第 44 回（2023 年 3 月期）インフォメーション･ミーティング　質疑応答

Ｑ１．貸出金残高が大きく伸びていますが、その背景と今後の持続性についてどのように考えていますか？

また、将来の目標的な預貸率はありますか。

Ａ１．貸出金については、平残で約 2,000 億円増加しました。その中でも中小企業向け融資は、全体で約 14%増となっており、地域別では県内が約 8%増、県外が約 20%増となっています。

山梨県内においては､半導体関係の下請け企業を中心とした製造業関連の設備資金需要や、物流企業の大型設備資金需要等の取り込みにより融資残高は伸長しました。

また、東京地区においては、2022 年 6 月に設立した「東京推進部」の営業活動がお客さまの間にも本格的に認識され始めており、商流を活用した資金需要や富裕層向けの資金需要の取込みなど、従来の当行にはなかった新たな収益機会を創造しており、融資残高増加に貢献しています。

今後も、コンサルティング機能強化・拡充によるライフステージのワンストップ支援を展開することで、企業価値向上に繋がる有益な経営支援、前向きな資金供給、提案型の営業を継続することで、貸出は順調に推移すると考えております。

預貸率については、中長期的な将来の目標として７０％台を目指して各種施策に取り組んでいきたいと考えています。

Ｑ２．ROE が他行と比べて低い水準にありますが、課題は何でしょうか？

Ａ２．ROE については、過去 20 年間を捉えますと最高でも４％程度となっており、預貸率も 50%前後でした。このような中で、貸出金増加に対する取組みが弱かったことが一つの要因ではないかと考えています。

現状では、お客さまの資金繰り支援や課題解決に向けたコンサルティングを提供することで、貸出金の増加に繋がっていますので、引き続き ROE の改善に向けて努めていきたいと思っています。

また、今回お示しした ROE 目標 5%以上という水準は、資本コストとの比較においては、不十分かもしれませんが、マイナス金利という特殊環境下の中で、役務収益・新事業収益・グループ会社収益など新たな収益獲得に取り組みつつ、当行の過去 20 年間の最高 ROE 水準を超える挑戦と考えています。

なお、ROE5%以上の目標達成に向けては、収益増強のみならず、資本戦略についても柔軟かつ機動的に検討しています。また、資本コスト引下げに向け、これまで以上に成長戦略や非財務情報など丁寧な IR 発信（投資家との情報の非対称性の排除）にも取り組んでいきます。

今後の状況を見極めたうえで資本政策を柔軟かつ機動的に対応することで、さらなる自己資本の活用により、資本コスト 7%を上回る ROE を目指してまいります。

Ｑ３．円建債券の運用については、今後どのように考えていますか？

Ａ３．貸出金が増加しているため、円金利リスクの取り過ぎには注意しなければなりませんが、有価証券ポートフォリオの改善による収益の向上は目指していかなければならないと考えています。

円建債券の運用においては、タイミングが重要であり、日銀の金融緩和政策の修正というのは一つの重要なポイントになると考えています。タイミングを逸することなく投資することで安定したポートフォリオを構築し、収益向上を目指してまいります。

Ｑ４．ROE・PBR の改善に向けて、東証からの要請前に取り組めなかった要因は何でしょうか？

Ａ４．これまでも ROE・PBR の改善に向けて様々な施策に取り組んでまいりました。主な取組みとしては、お客さまの課題解決に向けたコンサルティング領域の深化・拡大、各種業務の合理化・効率化を実施することによって、事務から営業に人員をシフトいたしました。その結果として、貸出金の増加や顧客向けサービス業務利益の黒字化などに繋がっております。

このような取り組みを通じて、今後の見通しができるようになったことで、ありたい姿の到達時期を明確化し、成長戦略・資本戦略・サステナブル戦略に取り組むことで、ＲＯＥの改善を目指してまいります。

Ｑ５．貸出金が伸長している中で、ストラクチャードファイナンスの寄与度はどの程度でしょうか？

また、静岡銀行とのアライアンスの中で、ストラクチャードファイナンスに対する取組みが与えた影響はありますか？

Ａ５．ストラクチャードファイナンスを中心とする本部貸出については、静岡・山梨アライアンスによる協働融資等を中心に、約 360 億円増加しており、要因の一つであります。

また、静岡銀行に行員を派遣し、様々なノウハウを吸収・蓄積することで、当行の体制構築を行っています。その吸収・蓄積したノウハウを活用して、地域企業のニーズや課題解決にストラクチャードファイナンスを活用することも多くなっており、大きな成果だと認識しております。

以　上